

## 第1回 企画委員会 議事概要

(ひょうごフィールドパビリオン SDGs 体験型地域プログラム二次認定について)

日 時：令和5年5月26日（金）10：00～11：50

場 所：2号館2階会議室

出席者：委員5名 アドバイザー1名

### <主な発言>

#### ■SDGs 体験型地域プログラムの第二次認定について

##### 委員等

- ・認定を見送る1件は県内に活動拠点が無いという理由で見送るという理解でよいか。

##### 事務局

- ・その通りである。

##### 委員等

- ・「フィールドパビリオン」という言葉にコピーライト「©」を取ることや、海外での使われ方等、フィールドパビリオンが発信されればされるほど、他でも類似のものが出てくる可能性があるため、兵庫県らしさを保持する発信方法は検討していく必要がある。

##### 事務局

- ・悪意ある請求への対抗手段をとることを目的に「ひょうごフィールドパビリオン」で登録商標している。

##### 委員等

- ・英語で「pavilion」は建物の意味だが、建物を整備しないプログラムが誤解を招く可能性がある。

##### 事務局

- ・海外向けには、「Field pavilion」をサステナブルツーリズムの固有名詞として使っている。

##### 委員等

- ・「フィールドパビリオンとはこういうことだ」としっかり伝えるツールが必要だろう。

##### 委員等

- ・プレミア・プログラムを体験できるツアーを開催してもよいのではないかな。

##### 委員等

- ・「フィールドパビリオン」は、兵庫全体を一つのパビリオンと見立てている。プレミアがお宝部屋など、どんな部屋があるのかが、グルーピングで分かりやすく示せれば理解しやすいのではないかな。

##### 委員等

- ・兵庫県を一つの建物として捉えると納得感がある。その中の部屋は、テーマとして切り取るか、地域として切り取るか等整理が必要である。

#### 事務局

- ・プロモーションにおいて、グルーピングしながらフィールドパビリオンを発信していくよう、準備を進めている

#### 委員等

- ・横のつながりを作ることが我々にできることであり、自走に向けたきっかけづくりができるのではないかと。

#### 事務局

- ・モニターツアーなどで海外の要人などを案内していきたい

#### 委員等

- ・17の新たなプログラムを認定いただくことでよいか。

(異議なし)。

以 上